

# MJサイエンス

## SSH指定女子高校等研究交流会

令和元年8月20日(火) お茶の水女子大学

この交流会は、お茶の水女子大学と高大接続協定を結んでいる女子高校6校(埼玉県立浦和第一女子高等学校、埼玉県立川越女子高等学校、埼玉県立熊谷女子高等学校、茨城県立水戸第二高等学校、栃木県立宇都宮女子高等学校、本校)が、お茶の水女子大学の協力をいただいて実施している催しで、今回で6回目となります。今年度からは、新たにSSH(スーパーサイエンスハイスクール)に指定された、お茶の水女子大学附属高等学校が加わり、7校体制で実施することになりました。

この交流会は、「各校の優れた取組について情報を共有し研究に対する意識・意欲を高め合うとともに、大学教員や大学院生から実技指導等を受けることにより、更なる技術習得やスキルアップを図る。」を趣旨として行われ、交流会で得られた成果を、自らの課題研究に活かすことを目的としています。

当日は、開会行事に続いて、コンテンツ別の実習を行いました。コンテンツは、数学・物理・情報、各1、化学・人間環境、各2、生物5の計12種類が用意され、生徒は自らの希望に応じて1つのコンテンツを選択し、各コンテンツ別のテーマに基づいて実習が行われました。実習は、お茶の水女子大学の先生方や大学院生の方のご指導をいただきながら、基本的に、大学に設置されている実験設備等を用いて行われ、高校では体験できないような高度な内容を体験することができました。

次に、参加者が12のグループに分かれ、「私の課題研究」というテーマで自らの課題研究の内容や進捗状況、工夫している点や困っていることなど、自由に意見交換を行いました。50分間という限られた時間であったため、十分な意見交換を行うことができませんでしたが、他校の生徒の課題研究がどのように進められているかについて知ることができ、充実した交流の時間をもつことができました。

最後に閉会行事が行われ、この交流会を主宰された、基幹研究院自然科学系教授の、千葉和義先生から、課題研究の意義や課題研究を行うことの楽しさについてのお話をいただきました。

次回は3月に、課題研究発表会が同じくお茶の水女子大学にて開催されます。今回の研修の内容を自らの糧として課題研究を進め、発表会では、研究で明らかになったことを、研究の楽しさを含めてわかりやすく発表することが期待されます。



開会行事(室伏学長の挨拶)



動物細胞の培養と伸展の実習



ヒトデの飼育施設の見学



「パスタブリッジ」の作製実習



ゲームプログラミング実習



ヒトデの卵の発生観察